

## 平成23年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	軽井沢高等学校	課程 (Ⓐ・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通)
-----	---------	--------------------

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成23年11月10日 (木)						
実施年月日(曜)	平成23年11月2日 (水)						
授業時間(時限)	8時 40分～ 9時 30分 ( 1 時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2学年・数学Ⅱ						
授業者名	土屋 稔						
形態	教育実習・初任研・10年研・ <u>その他</u> ( ) (○をつける)						
授業公開対象者	中学校・高等学校教員						
授業参観者数	校内		校外			その他 ( )	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	12人	人	人	人	人	人	12人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	東信地区の中学校、高等学校に案内メールを送信した。 受付の設置(校舎案内図を配付)、参観者へ資料配付(指導案)						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	<p>&lt;時間&gt;9時55分～10時45分          &lt;研究会参加者&gt;学校長・教頭・数学科教員2名・他教科1名          &lt;感想・意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声の大きさや板書の文字もちょうど良い大きさが良かった。問題の解法も常に同じ手順に戻って解説していたので生徒にとって解り易かった。</li> <li>・この分野では一番難しい対数方程式、不等式の問題を教材として取り上げていた。多くの生徒が問題を解いていたが、定義まで含めて内容をすべて理解させるのはなかなか難しい面がある。</li> <li>・まとめの内容は、丁寧に板書した方が後でノートを確認したときに理解しやすい。</li> <li>・理解度の確認の意味も込めて、さらに何人かの生徒を指名して公式の内容などを質問してみる方が良いと思う。</li> <li>・不等号の向きについて、教科書どおりXを左側に置くように教えるのか、同じ向きで統一した方がいいのか、判断が難しいところであるが、生徒の理解度を確認しつつ、今後も検討していきたい。</li> </ul>						
成果と課題	<p>&lt;授業者の感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の最後の問題では、入試問題までレベルを上げたところ、現時点である程度の生徒が理解を示した。将来的に期待が持てそうである。</li> <li>・生徒の顔を見て、きちんとした姿勢で授業を実施できた。</li> <li>・今回、多くの意見をいただき、自分の授業を見直す良い機会となった。</li> </ul>						



ただいま、解説中



ただいま、演習中